

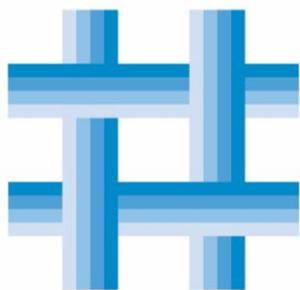


# 「ともに生きる社会かながわ憲章」の 認知度向上と理念の普及

ともに生きる 翔子

2020年3月

神奈川県福祉子どもみらい局  
共生社会推進課



ともに生きる社会  
かながわ憲章

KANAGAWA CHARTER for an Inclusive Society

Kanagawa Prefectural Government



私たち一人ひとりの行動が、  
未来につながる。

SDGs 未来都市 神奈川県

# ともに生きる社会かながわ憲章

神奈川県議会と共同して

「ともに生きる社会かながわ憲章」を策定 [H28.10.14]

- 私たちは、あたたかい心をもって、  
**すべての人のいのちを大切にします**
- 私たちは、**誰もがその人らしく**  
**暮らすことのできる地域社会を実現します**
- 私たちは、障がい者の社会への  
参加を妨げるあらゆる壁、  
**いかなる偏見や差別も排除します**
- 私たちは、この憲章の実現に向けて、  
**県民総ぐるみで取り組みます**



# ともに生きる社会の実現に向けた展開

①憲章の普及(理念の浸透)



②県民の理解・関心・共感



③県民が自ら行動する



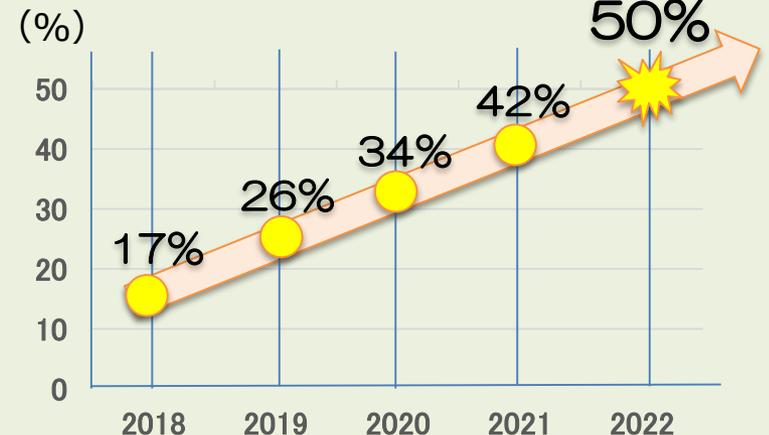
意識の醸成

ともに生きる社会の実現

就労、教育、バリアフリー、まちづくりなどの基盤整備も必要

「ともに生きる社会の実現」に向けて、今後4年間、憲章の普及に全力で取り組み、**認知度50%**を目指す。

憲章の認知度の数値目標



※2019年度県民ニーズ調査結果 15.7%

# 令和元年度の主な取組み①

## ◆みんなあつまれ

- ・憲章の理念を広め、障がいのあるなしに関わらず、みんなで同じ体験を共有し、「ともに生きる」ことを体感するイベント
- ・市町村や地域のイベントと連携し、県内6か所で開催

### 〈内容〉

- ・パラスポーツ選手と一緒に気軽に楽しめるパラスポーツプログラム
- ・障がいのあるアート作家などと一緒に体験できるワークショップ
- ・障害福祉サービス事業所によるパンや菓子などの飲食物の販売

### 〈連携イベント〉

- |     |    |              |
|-----|----|--------------|
| 4月  | 横浜 | ツナガリウォーク     |
| 5月  | 大和 | 市民まつり        |
|     | 鎌倉 | 大船まつり        |
| 6月  | 川崎 | 多摩ふれあいまつり    |
| 9月  | 藤沢 | 市民まつり        |
| 10月 | 横浜 | ホッチポッチミュージック |



# 令和元年度の主な取組み②

## ◆ともに生きる社会かながわ推進週間

- ・ 津久井やまゆり園事件が発生した7月26日を含む1週間
- ・ 今年は7/22(月)～28(日)
- ・ 集中的な広報を実施

- ①チラシ配布・ポスター掲示
- ②Tシャツの着用
- ③新聞広告：7/26読売・神奈川
- ④地域広報誌：タウンニュース
- ⑤インターネット広告：30秒動画
- ⑥県広報媒体：県のたより、ラジオ、テレビ、HP、かなチャンTV
- ⑦各市町村：庁舎での掲示、広報誌への掲載



津久井やまゆり園事件から3年。共生社会の実現を考える。

7月22日～28日は、「ともに生きる社会かながわ推進週間」です。

※この事業は神奈川県と神奈川県議会が共同して実施したものです。本県の取組などは、こちらから【ともに生きる社会かながわ】  
問合せ先 神奈川県福祉子どもみらい局 共生社会推進課 電話 045-210-4961 FAX 045-210-8854



【ともに生きる社会かながわ推進週間ポスター】

# 令和元年度の主な取組み③

## ◆市町村庁舎等でのパネル展

- ・市町村庁舎や県立施設等で、「ともに生きる」に関するパネル展示
- ・年間を通じて、各市町村の庁舎等を巡回。



## ◆その他

- ・特別支援学校とJAさがみと連携した直売所店頭で展示
- ・各市町村主催のパラリンピック関連イベントでの幟旗やチラシの活用



# 令和元年度の主な取組み④

## ◆共生社会実現フォーラム

日時 令和元年12月15日（日）10：00～16：00

会場 神奈川県庁本庁舎 大会議場ほか

概要 憲章がめざす、障がいの有無にかかわらず、誰もが自分らしく活躍できる社会の実現に向けて、「カッコいい大人・学生たちが魅せる！誰もが行動する社会へ」をテーマに開催。



プレゼンテーション・ワークショップ



テクノロジー展



文化芸術発表

# 新たな取組み：若年層を中心とした普及啓発

憲章の「いのちの大切さ」「その人らしさ」「支え合い」といったメッセージを  
主要なターゲットである18-29歳の若年層に共感・自分ごと化される言葉に変換する



## “リスペクト”

“リスペクト”は日本の10-20代の若者たちの間に浸透し、日常的かつ能動的に使われている言葉。

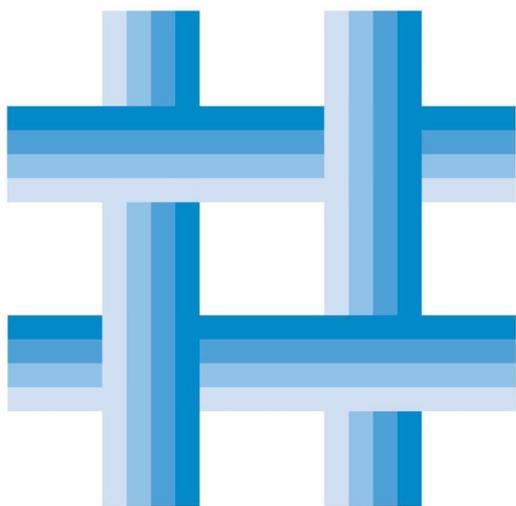


この今の若者ならではの「自分とは異なる部分を持っている人のことを積極的に称え合う」文化を  
フックにすることで、「ともに生きる社会」が若者たちに急速に自分ごと化されていく。

# #リスペクトでつながろう

憲章制定から3年を迎える2019年秋から

新たにオリジナルロゴを開発し、プロジェクトを展開しています。



ともに生きる社会  
かながわ憲章

KANAGAWA CHARTER for an Inclusive Society

## # リスペクトでつながろう

自分とは違う。だから、相手を見做す。  
攻撃する。

そうじゃない。本当は、自分と違うから  
こそ、相手を見做すできる。

そして自分もまた、誰かから見做す  
してもらえる。

これこそが、一人ひとりの個性を大切に  
しながら

「ともに生きる社会」を実現していく  
方法だと信じて。

わたしたち神奈川から始めます。

# #リスペクトでつながろう



新デザインポスター



「RESPECT DAP」動画